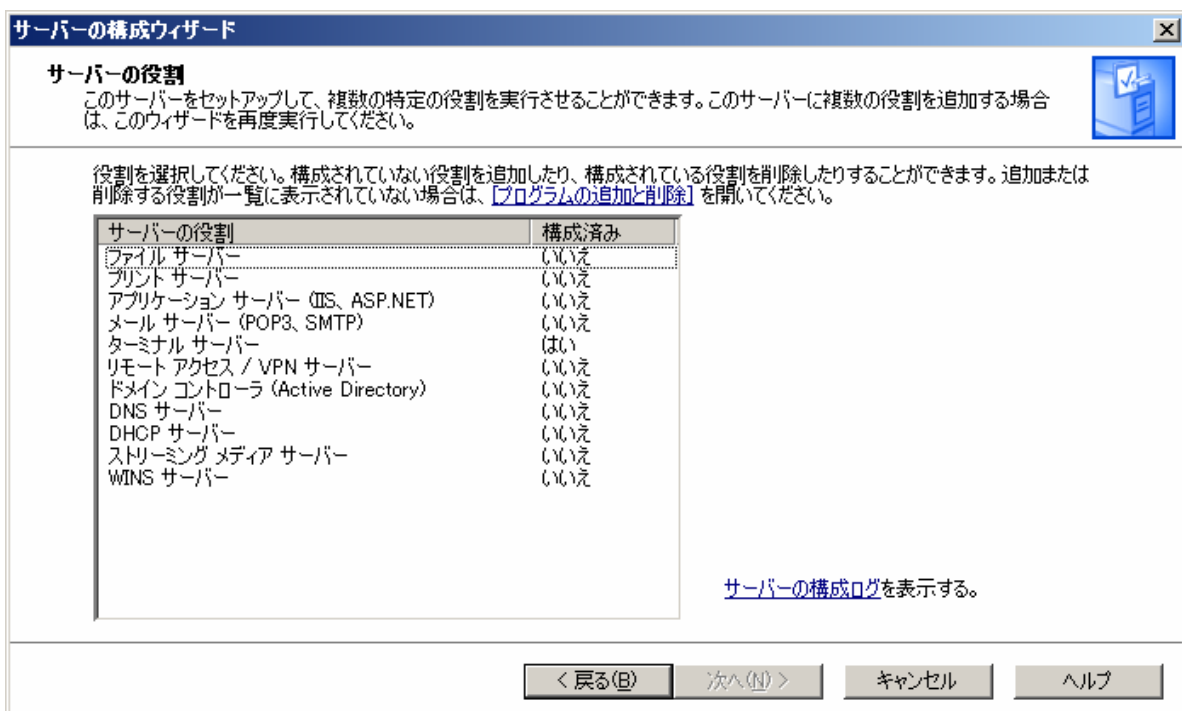


X-RiteColor[®] Master Web バージョン

このドキュメントでは、X-RiteColor Master Web バージョンのインストール手順を説明します。必ずここで紹介される手順に従って設定を実行してください。設定を開始する前に、Windows 2003 Server がインストールされており、「サーバーの構成ウィザード・サーバの役割」で下図のように設定されていることを確認してください（ターミナルサーバーのみ）。このサーバーは他の目的には使用せず、X-RiteColor Master 専用サーバーとして使用してください。また、アプリケーションの適切な動作の妨げになるドメインの設定を避けるため、他のドメインへの接続はしないでください。なお、このサーバーがファイアウォール内にあるときは、TCP ポート 3389 がファイアウォールを通してアクセス出来るようにしてください。



このサーバーに接続するクライアントは、Microsoft リモートディスクトップがインストールされている必要があります。

[注] Windows XP にはリモートディスクトップが標準でインストールされていますが、クライアント PC の OS が Windows 2000 の場合は、Microsoft から無償で提供されていますので、ダウンロードしてインストールする必要があります。

インストールのアップデート

旧バージョンをアップデートする場合、X-RiteColor Master Web バージョンを使用中のすべてのユーザーは一度ログオフする必要があります。管理者としてサーバーにログインし、[コントロールパネル] の [アプリケーションの追加と削除] から X-RiteColor Master Web バージョンをインストールします。これで、サーバーが自動的にインストールモードになります。(この手順は、ターミナルサービスにプログラムをインストールする際に必要です。)インストール時はすべての既定を受け入れてください。インストールのアップデートが完了する直前に、管理者名が「admin」になったログイン画面が表示されます。(図 1 参照)

1. 現在の管理者用パスワードを入力してください。(既定のパスワードは「password」です。)
2. [OK] をクリックしてください。
3. [完了] をクリックします。

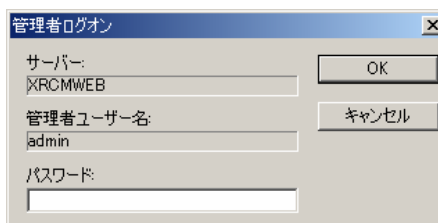


図 1

新規インストールおよびユーザー設定

まず最初に X-RiteColor Master Web バージョンをサーバーにインストールしてください。管理者としてサーバーにログインし、[コントロールパネル] の [アプリケーションの追加と削除] から X-RiteColor Master Web バージョンをインストールします。これで、サーバーが自動的にインストールモードになります。(この手順は、ターミナルサービスにプログラムをインストールする際に必要です。)インストール時はすべての既定を受け入れてください。

製品ライセンス

X-RiteColor Master はライセンスされていないと起動できません。

1. デスクトップ上の **[Activate]** アイコンをダブルクリックしてください。
2. ご購入された製品を選択し、OK をクリックします。

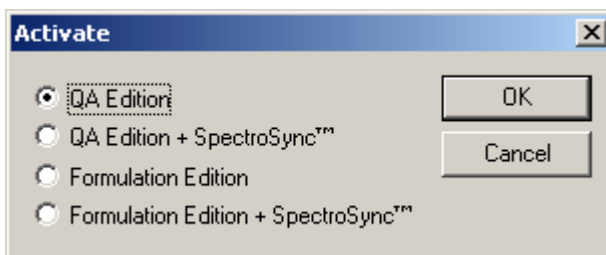


図 2

3. ダイアログが表示されたら、新しいライセンスキーを入力して、**[ライセンス]** をクリックします。ライセンスキーを入手していない場合は、**[オンライン登録はこちらをクリックしてください]** をクリックし、製品登録を行うことでライセンスを入手することができます。

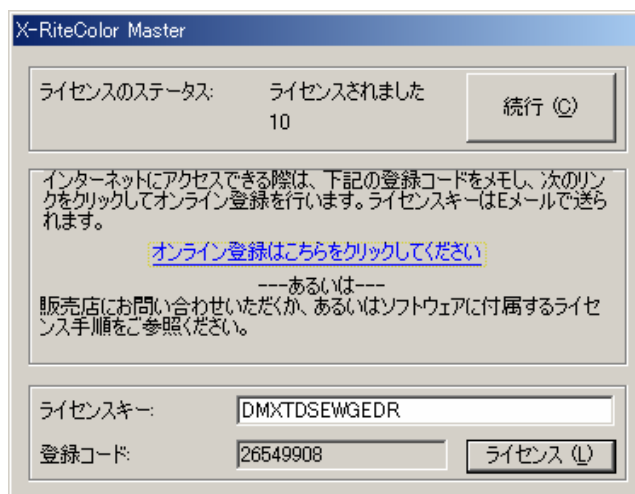


図 3

ターミナル サービス構成の設定

1. Windows の [スタート] メニューから [プログラム]、[管理ツール]、[ターミナル サービス構成] を選択します。

2. ターミナル サービス構成ダイアログから [サーバー設定] を選択し、図4に示されるよう選択します。

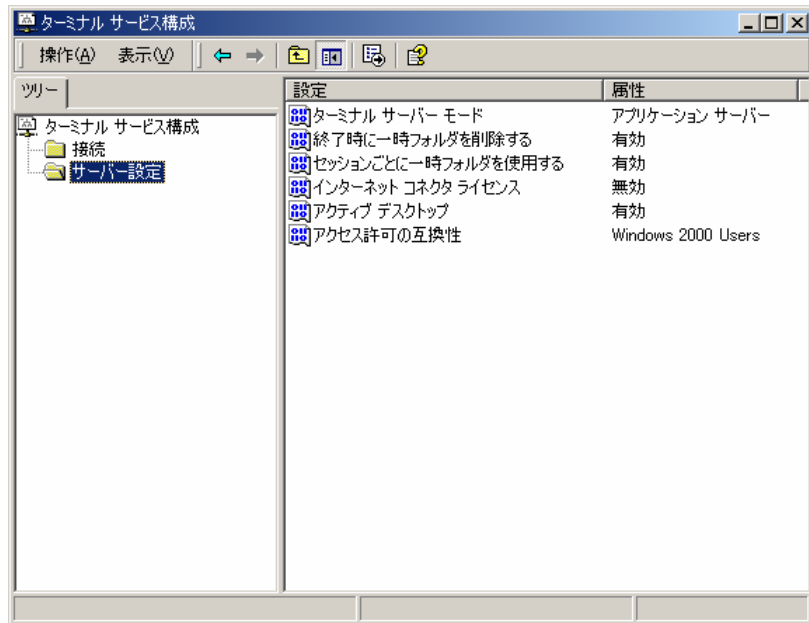


図 4

3. ターミナル サービス構成ダイアログから [接続] を選択します。

4. RDP-TCP を右クリックし、[プロパティ] を選択してください。

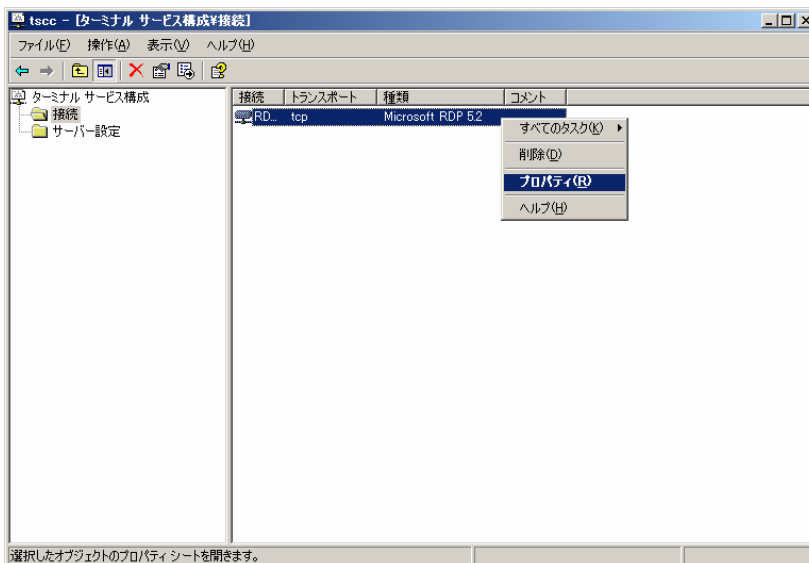


図 5

5. [プロパティ] のダイアログから、[セッション]、[リモート制御]、[クライアントの設定] の各設定を下図に従って変更します。

6. [セッション] タブをクリックし、図 6 に表示されている項目を選択してください。

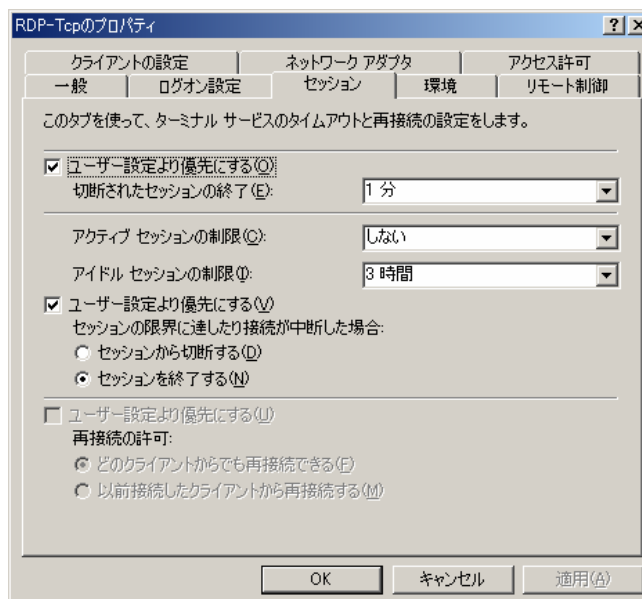


図 6

7. [リモート制御] タブをクリックし、図 7 に表示されている項目を選択してください。

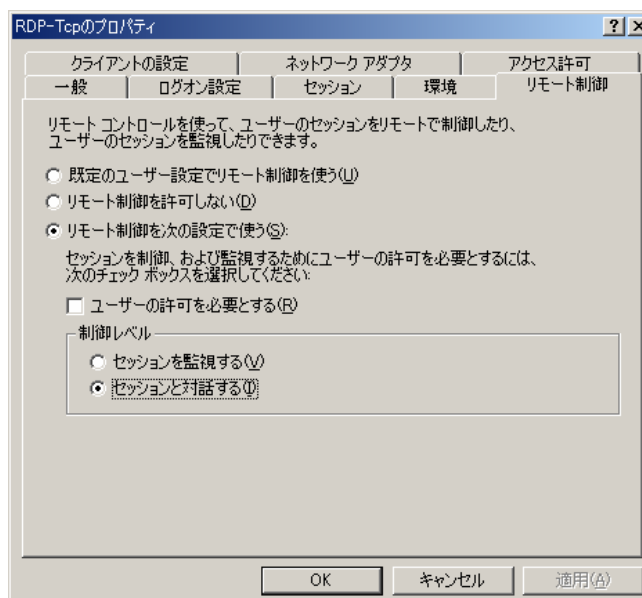


図 7

8. [クライアントの設定] タブをクリックし、図 8 に表示されている項目を選択してください。

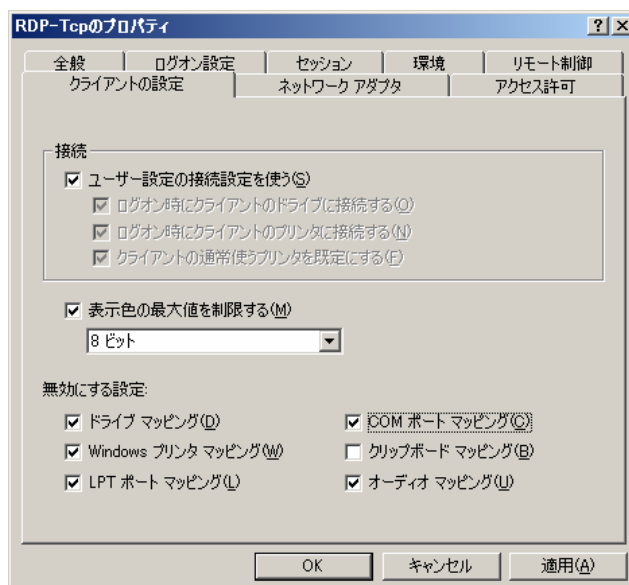


図 8

9. [アクセス許可] タブをクリックし、図 9 に表示されている項目を選択してください。

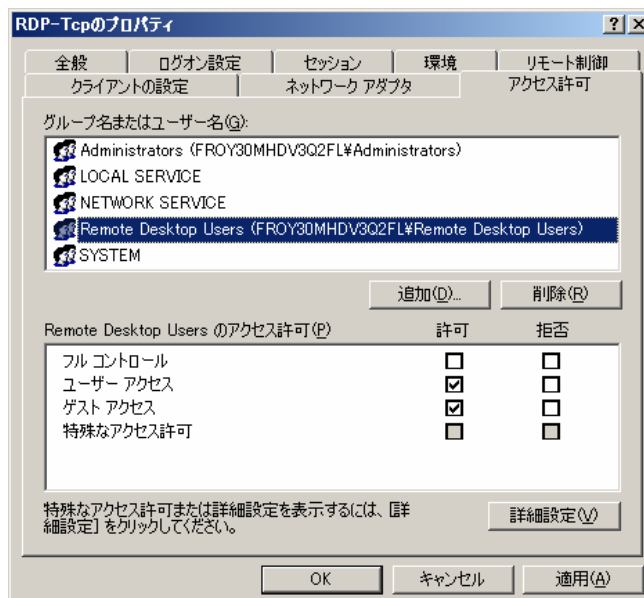


図 9

10. [環境] タブをクリックし、
図 10 に表示されている項目を選択してください。
11. [OK] をクリックして設定を保存し、ダイアログを閉じてください。

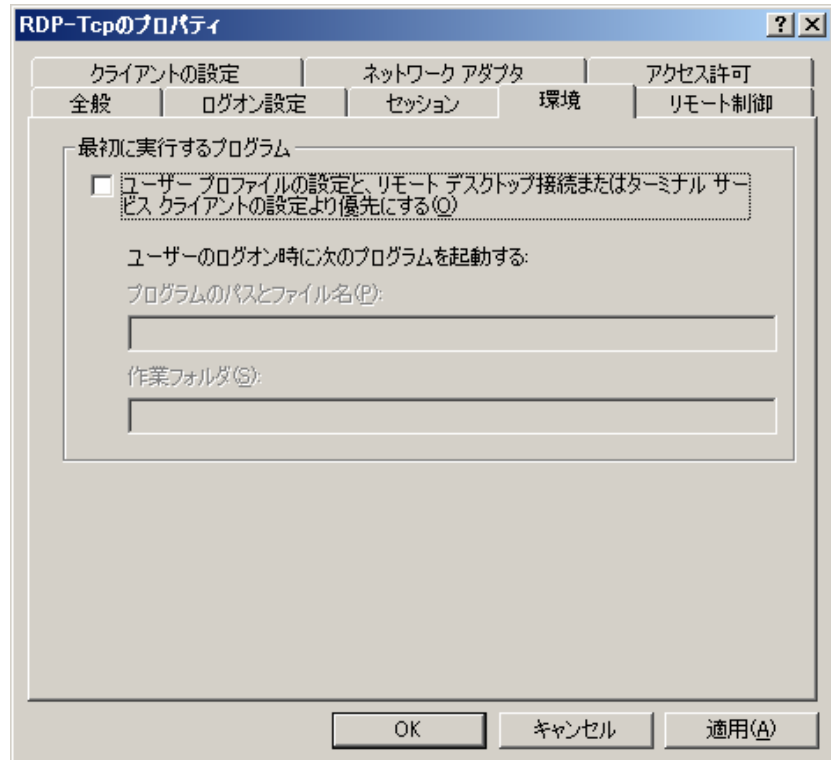


図 10

12. Microsoft 管理コンソール (mmc) を使用し、図 11 および 12 に表記される設定を適用します。

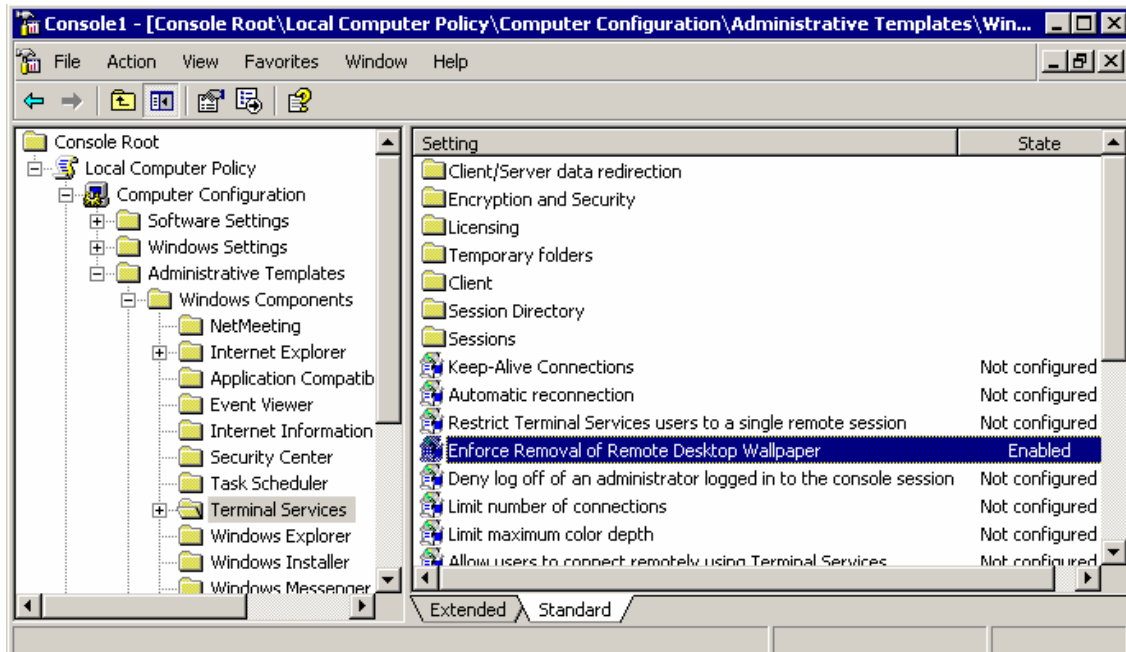


図 11

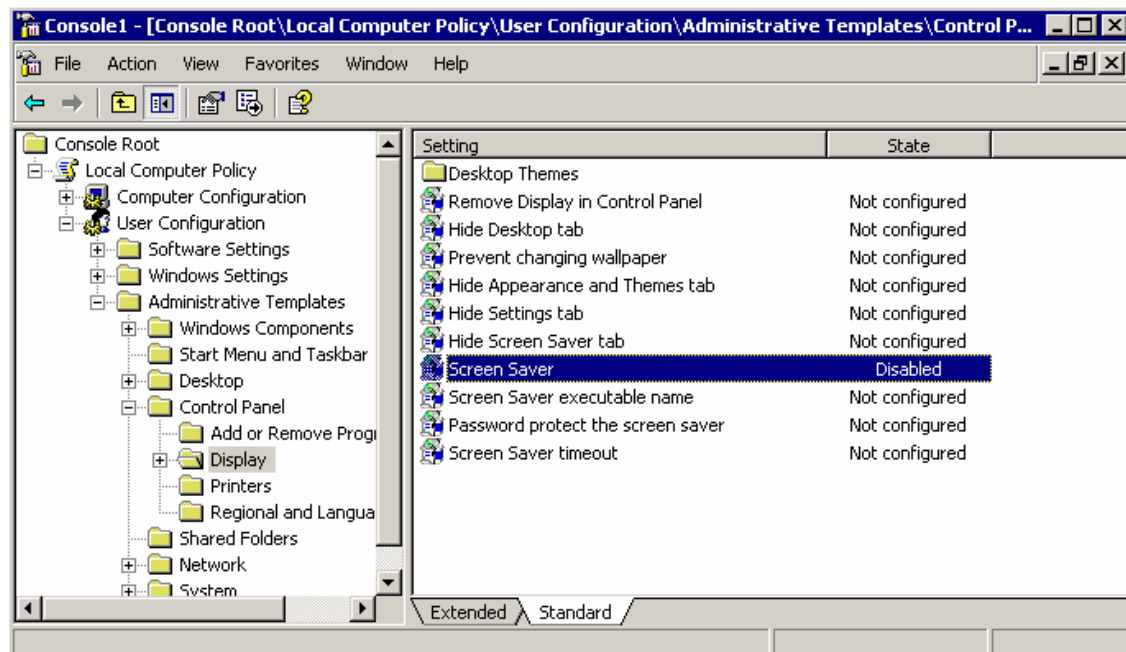


図 12

X-RiteColor® Master ユーザーの作成

1. X-RiteColor® Master のユーザーは次の2つのレベルで作成する必要があります。1. コンピュータにログインできるユーザー。2. X-RiteColor Master 内で管理者ユーティリティを使用して作成したユーザー。まずはコンピュータ ユーザーを作成します。
2. 作成されたユーザ名を右クリックし、[プロパティ]を選択します。

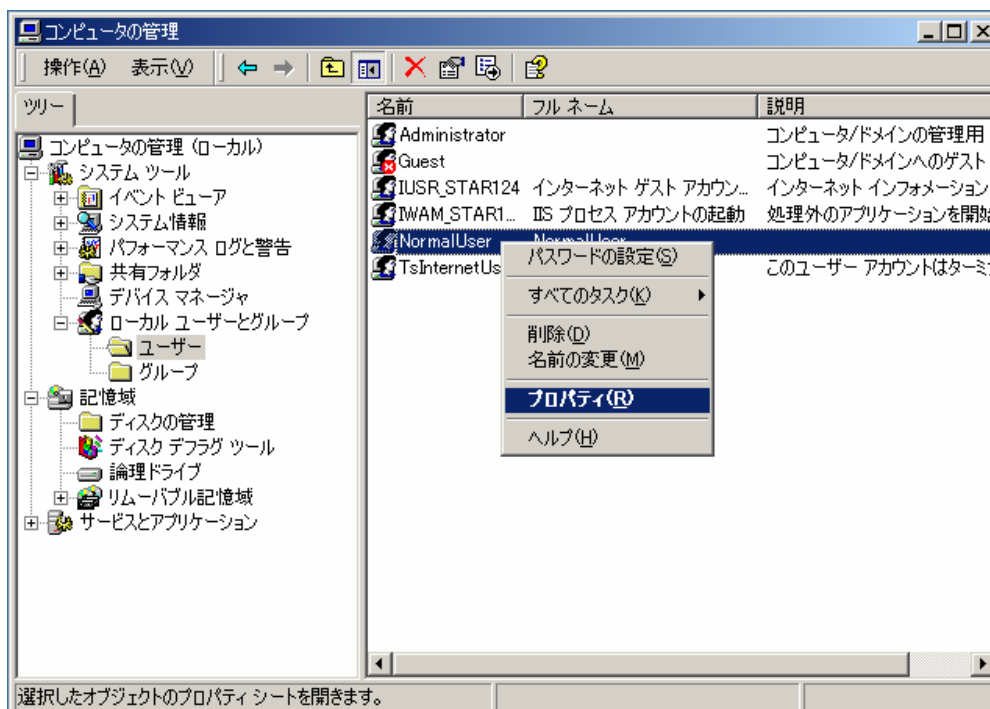


図 13

3. [プロパティ] ダイアログで [所属するグループ] タブをクリックし、図 14 のように [Remote Desktop Users] を追加します。

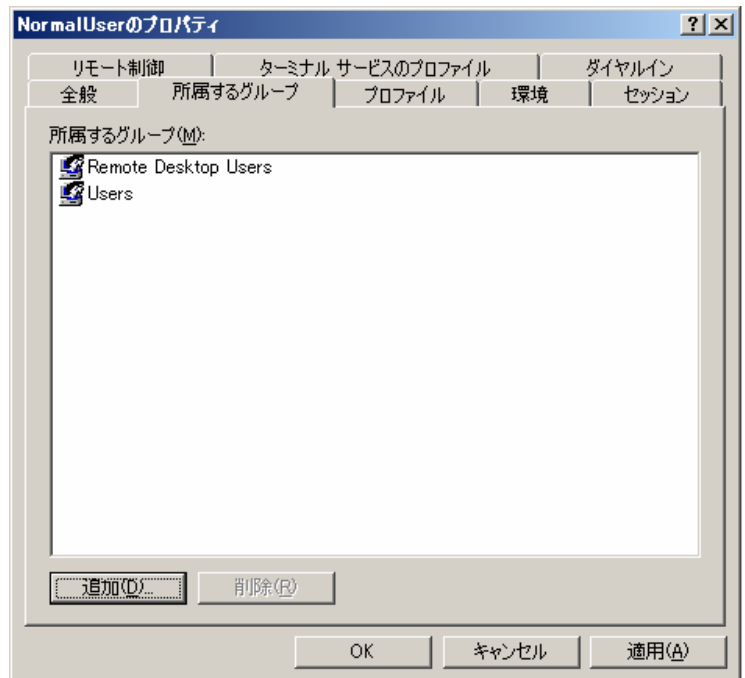


図 14

4. [プロパティ] ダイアログで [環境] タブをクリックし、図 15 に表記される [起動プログラム] を設定します。[クライアントのデバイス] は、[ターミナル サービスのプロファイル] 設定により上書きされるため無視してください。
5. [OK] をクリックしてすべての設定を保存し、ダイアログを閉じてください。

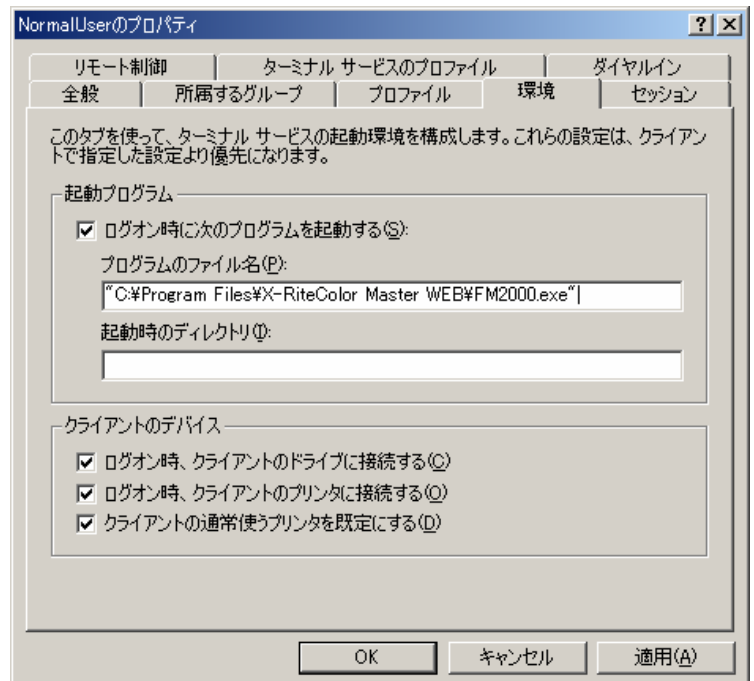


図 15

6. コンピュータ ユーザーを作成した後、デスクトップから XAdmin ユーティリティを起動します。ユーザー名に「admin」が指定された管理者のログイン画面が表示されます。
7. パスワードとして password (すべて小文字) を入力してください。
8. [OK] をクリックしてください。

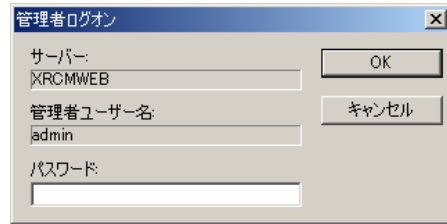


図 16

9. X-Admin データベース管理者が表示されたら [ユーザー管理] を選択します。

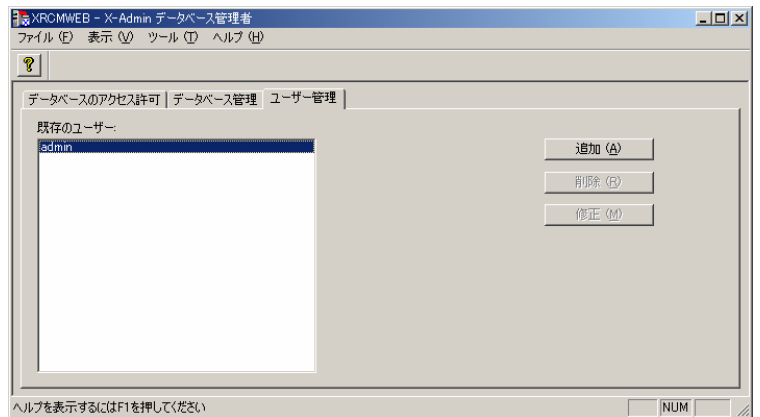


図 17

10. ユーザーを追加するには、ユーザー名を選択し、[追加] を選択してください。

右図は「NormalUser」を作成した例です。パスワードはすべてのユーザーに対して「password」と設定されていなければなりません。ここで入力されたユーザー名は、コンピュータ ユーザーにすでに設定された名前と同一 (大文字と小文字の区別) である必要があります。

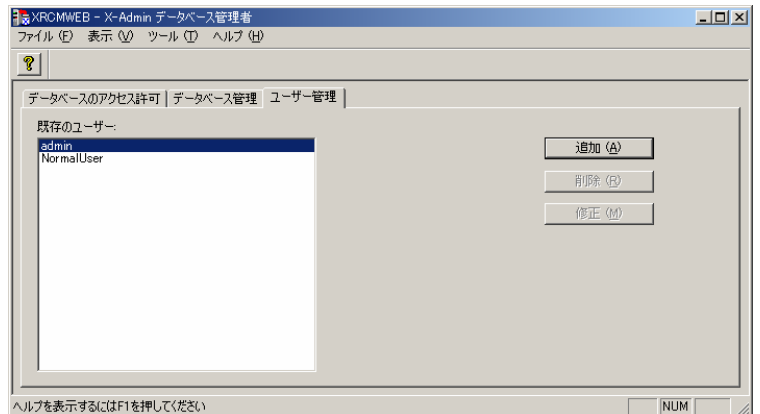


図 18

11. [データベースのアクセス許可] をクリックし、各ユーザーに許可される内容を設定します。

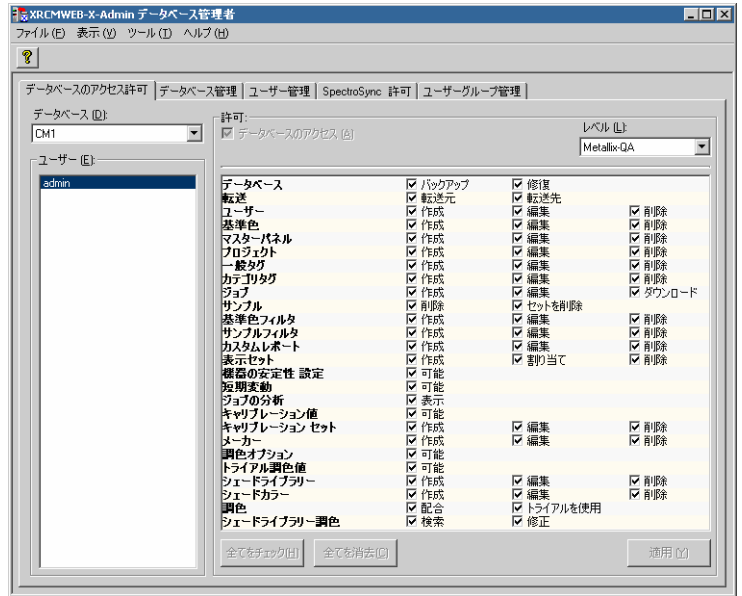


図 19

12. [レベル] のドロップダウンメニューから X-RiteColor Master のアクセスレベルを指定します。このオプションは、Web バージョンの場合、各ユーザーごとに設定する必要があります。

13. [適用] をクリックします。

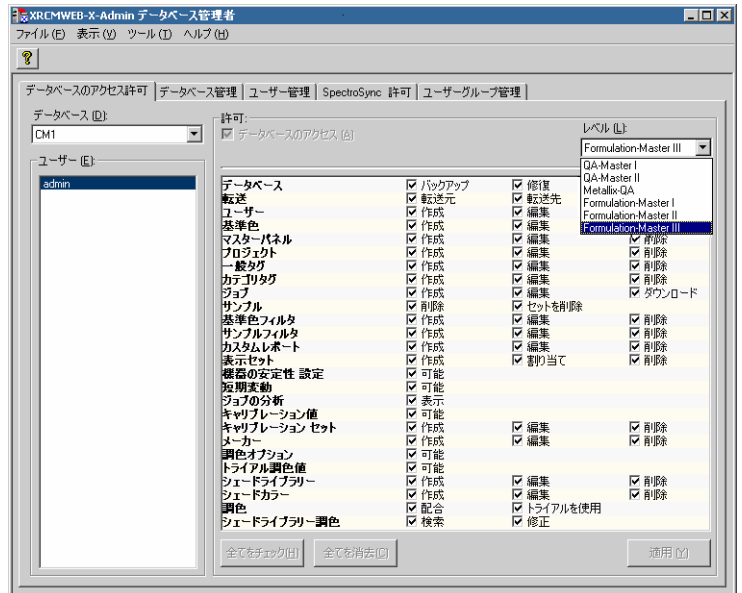


図 20

ユーザーのアクセス許可

1. Windows エクスプローラを起動し、X-RiteColor Master Web フォルダを開きます。

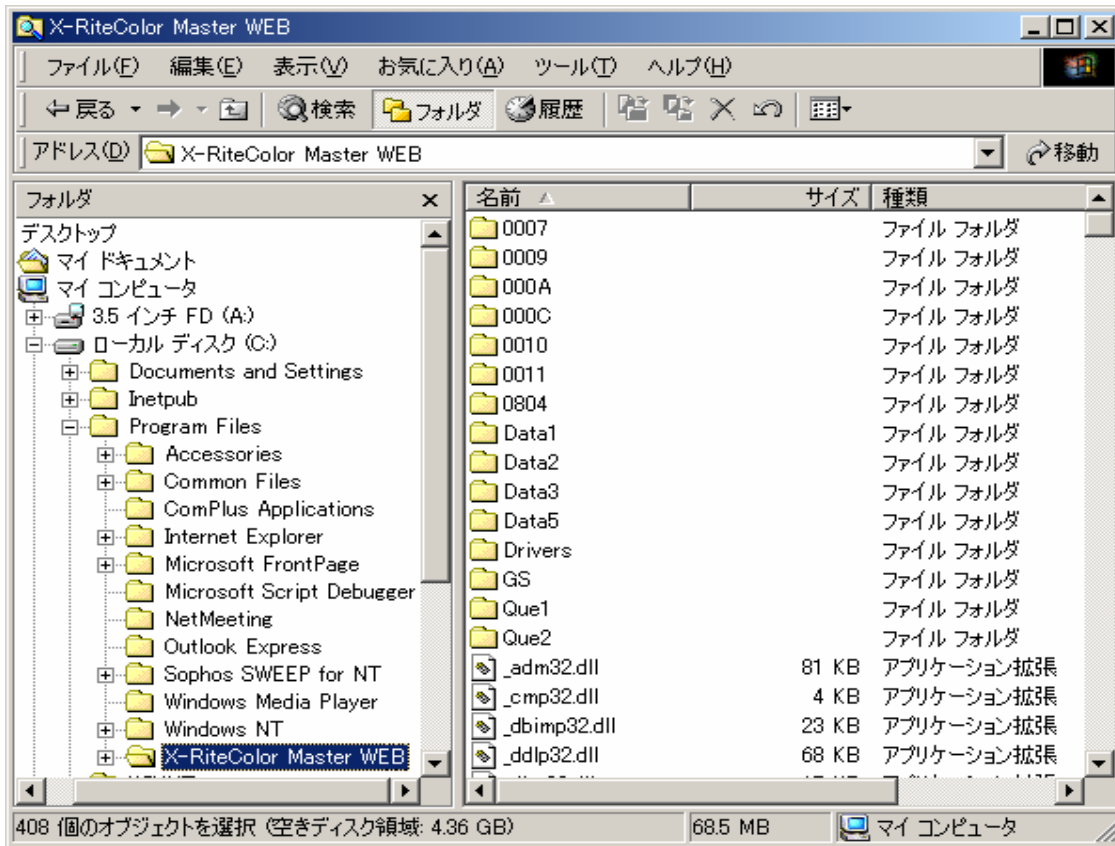


図 21

2. フォルダ名を右クリックし、[プロパティ] を選択してください。
3. [セキュリティ] をクリックし、[Users] を選択します。[読み取りと実行] に [許可] をチェックします。X-RiteColor Master の使用に必要なファイルやフォルダがあるため、この作業が必要となります。
4. [OK] をクリックして設定を保存し、ダイアログを閉じてください。

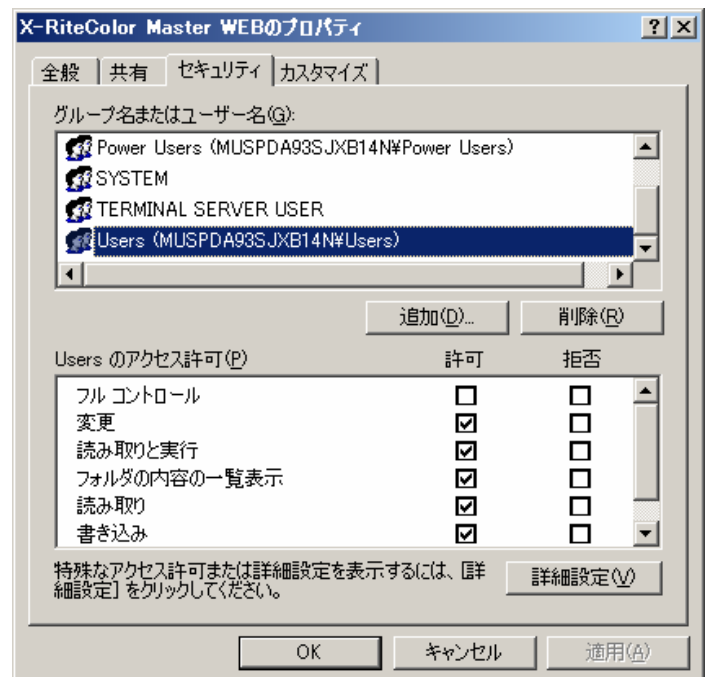


図 22

クライアント コンピュータのインストール手順

1. CD から「Client Install」フォルダを指定します。
2. X-RiteColor Master Web バージョンにアクセスする各クライアント コンピュータで実行可能ファイル（X-RiteColor Master Client vX.X.exe）を指定して実行します。クライアントが設定され、サーバーから X-RiteColor Master を起動するショートカットがデスクトップに表示されます。スクリプトまたはその他の管理ツールを使用してインストール作業を自動化する「サイレント インストール」バージョン（XRCM Client Silent Install vX.X.exe）も用意されています。